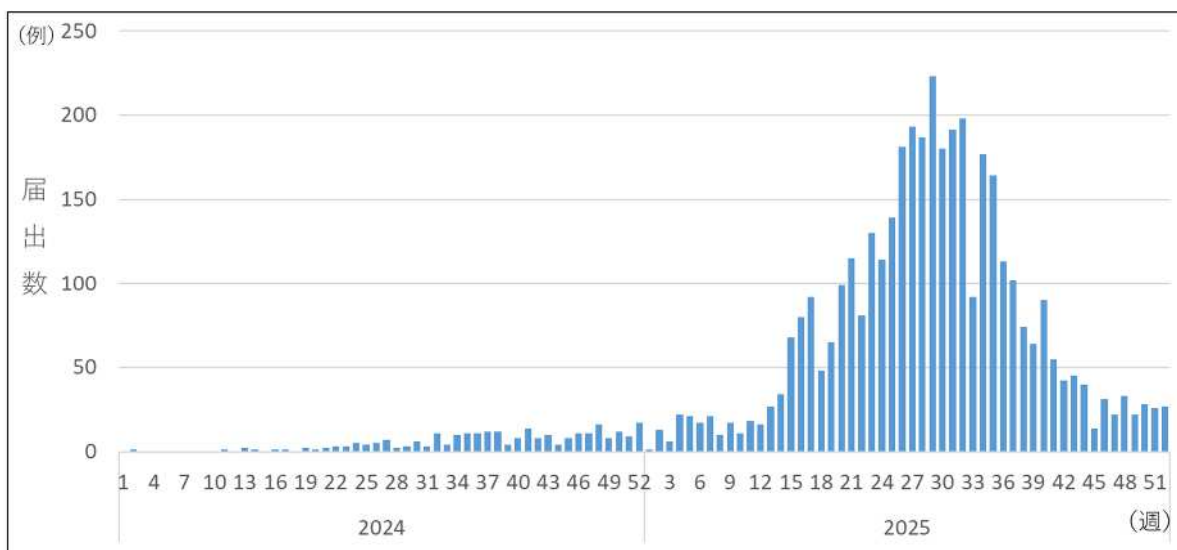


【百日咳】

(2026年1月16日現在 感染症発生動向調査による)

(1) 週別届出数の状況(神奈川県、2024年1週～2025年52週)

2025年の届出数は3,879例で2024年の届出数264例を大きく上回った。



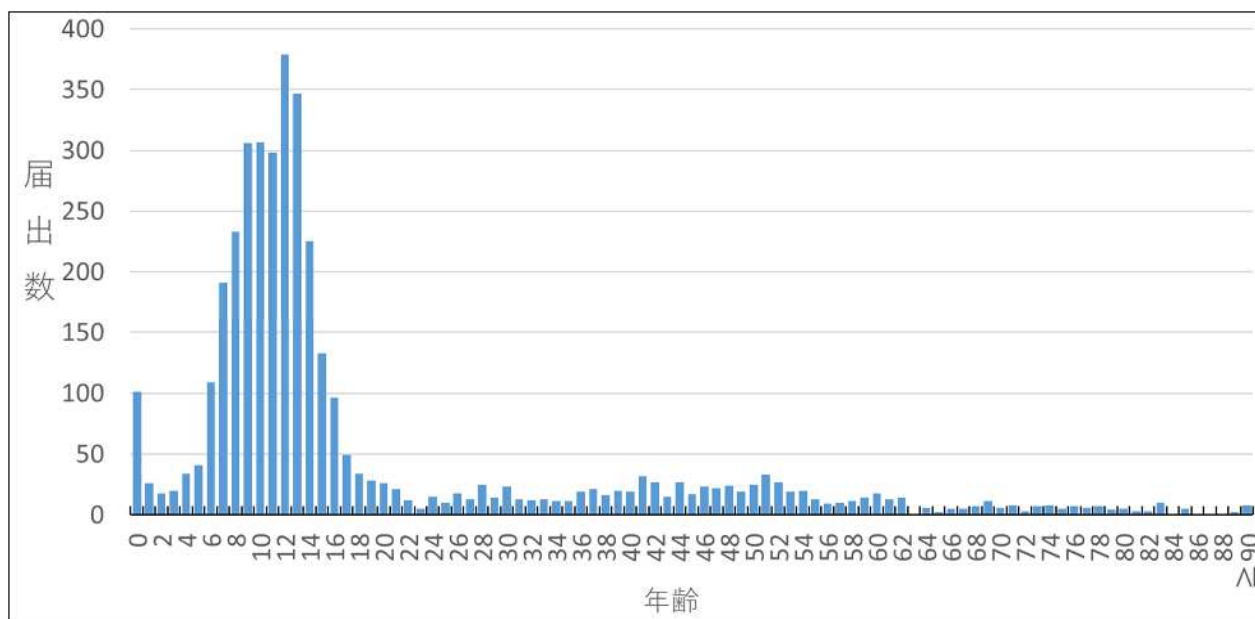
(2) 保健所別届出数の状況(神奈川県、2025年、n=3,879)

届出数の多かった保健所は、横浜市 1,500 例、川崎市 650 例、厚木保健福祉事務所 427 例であった。人口 10 万人当たりの届出数が多かった保健所は平塚保健福祉事務所・秦野センター90 例、厚木保健福祉事務所 79 例、平塚保健福祉事務所 70 例であった。



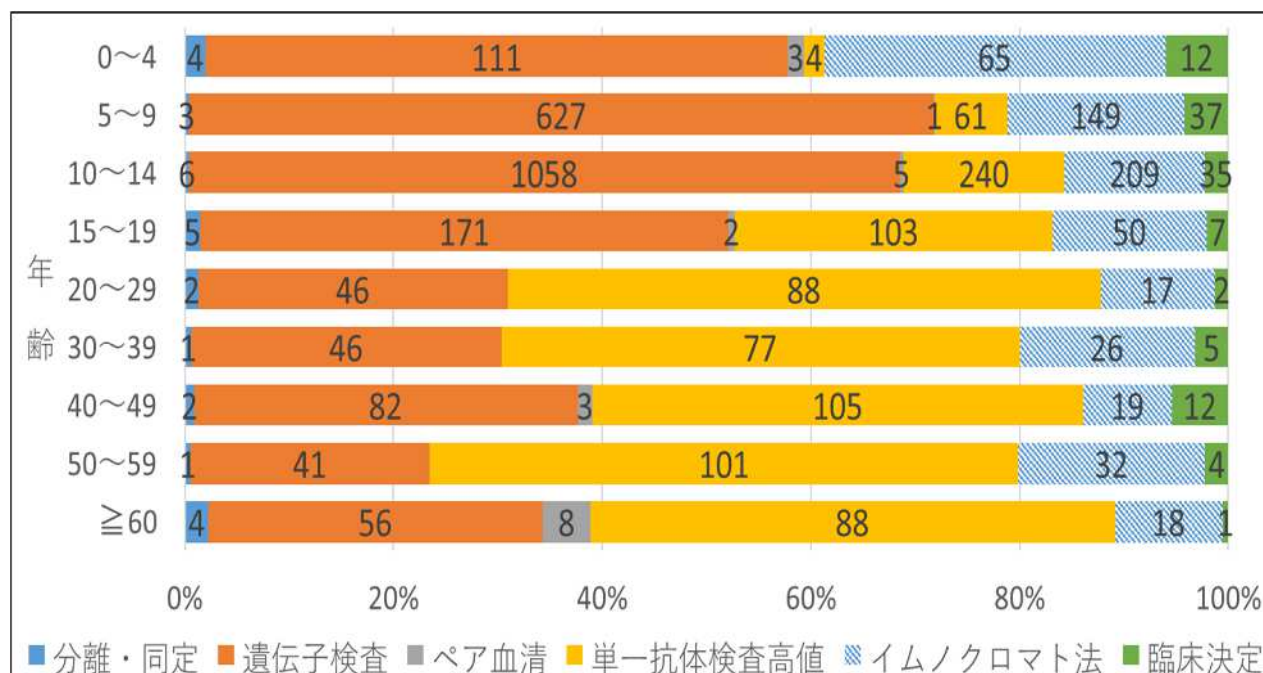
(3) 年齢別届出数の状況 (神奈川県、2025年、n=3,879)

0歳と6~16歳でピークが見られた。0歳ではワクチン未接種児の割合が多いこと、6~16歳ではワクチンの免疫効果が減衰していることが考えられた。



(4) 年齢群別診断方法の状況 (神奈川県、2025年、n=3,855)

遺伝子検査は19歳以下で多く、単一抗体検査高値は20歳以上で多い傾向が見られた。



※ガイドライン適応外23例、その他の検査方法1例

(5) 参考資料

神奈川県ホームページ 令和5年神奈川県衛生統計年報統計表 第1章人口

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/cz6/cnt/f6872/documents/reiwa5toukeihyou.html>